

## 教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	松岡 聖美
連絡先メールアドレス	kmatuoka@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	准教授
所属	看護福祉学部 看護学科
略歴	九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科看護学専攻 修了 九州看護福祉大学 看護福祉学部看護学科 助教、専任講師を経て准教授
取得学位	修士（看護学）（九州看護福祉大学）2008年
担当科目	大学院：成育看護学特論、看護政策論、看護理論、看護倫理、看護政策論 学部：小児看護学概論・小児看護学援助論、小児看護学方法論、研究方法論、卒業研究、看護政策論、小児看護学実習、地域ケアシステム実習
専門分野	小児看護、家族看護、看護教育、男女共同参画
所属学会	日本小児看護学会、日本小児保健協会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会等
現在の研究テーマ	小児看護の質評価、小児をかかえる家族への支援、小児看護学教育の効果、自己調整学習、ジェンダー、男女共同参画
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原著（単著）：看護実践能力尺度開発の研究動向. 九州看護福祉大学紀要. 2025 ; 25(1) : 38-49.</li> <li>2. 原著：家庭内高齢者虐待の具体例に対する認識の現状. 高齢者虐待防止研究. 2011 ; 7 (1) : 64-71.</li> <li>3. 原著：医療施設看護職が持つ高齢者虐待防止法の知識と家庭内高齢者虐待の為の観察視点との関連. 日本看護福祉学会誌.2011;16(2):115-125.</li> </ol> <p>&lt;発表&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A 地域で就業する看護職のライフイベントによる離職経験に関する一考察</li> <li>・小児看護学授業における看護過程演習の教育評価 ～グループワークによる試み～</li> <li>・作成した小児事例を用いた看護統合演習の効果</li> <li>・小児看護学の一コマにおける授業デザインの検討～ARCS モデルによる分析と改善～</li> <li>・国内における看護実践能力尺度の研究動向と開発における課題</li> <li>・海外における小児看護分野の満足度研究の系統的レビュー</li> </ul>

<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>熊本県看護協会研修講師（医療的ケアの在宅療養支援） 看護師、介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業の指導者</p>
------------------	--